

(9月会山行)

# 岩内岳 1,085m

山行実績報告書

岩内岳班記録: 山岸

日時: R4(2022) 9月17日(土)

天候: 曇りのち晴れ(頂上直下爆風) 21°C、頂上無風

メンバー: 岩内岳班 L山岸、SL西田芳、及川、西田昌、阿部、竹内  
(別班としてCL澤田他11名が本山を經由して雷電山を目指す)

総勢6名

	登り(往路)	下り(復路)
伊達道の駅	5:00	18:00
登山口発、着	7:30	13:30
5合目休憩	8:45	
6合目昼食		12:00
7合目	9:20	
9合目直下	10:00	
岩内岳頂上	10:15	10:20
実績所要時間	2H45分	3H10分



途中、岩内の街並みが望めるふりむき坂

前日のM氏からのメールで、まずまずの登山日和との情報、ニセコ連峰に挑戦、健脚者は雷電山まで我ら一般的な者は手前の岩内岳に登った。

久しぶりの3時起き、伊達から2時間でIWANAI RESORTの登山口、隣はオートキャンプ場  
K嬢の体操後、時間を要する雷電班からスタート。  
アツ！と言う間に雷電班は見えなくなる

いきなり急登、登ったら、ためし坂の標識！そこから6合目までなだらかな登山道、森林浴だ。



6合目よりダケカンバと石ころの登山道、我らはゆっくり、ゆっくり登る、オオカメノキの赤い実  
8. 5合目C1,000mのガレ場、爆風だ。女性はビビル飛ばされそうかがみ込む。  
3人の有志だけ、頂上へ何のことはない5分間、風を耐えれば風の全く無い頂上到達。残念です。



岩内町の田園風景

G氏のストックを探すが見つから無い。彼らはもうすぐ雷電の頂上近らしい、さすが早い健脚者！我らもチョット前ならそんなもんだ？

下山開始。6合目で昼食 旧リフトの残骸が痛々しい  
1合目付近で登る時テープを付けた所で、時間が有るので収穫作業。座っても道端で採れる。

まだ、コクワは固いが、米びつで？多くてどうするか  
山ブドウは0ワイナリーで銘酒になる？

登山口着 13:30 雷電班を待つ間、「さんさの湯」に入る。塩泉で熱い温まるが、汗が引かないので大変  
キャンプ場の案内展望台に上って、雷電班が降りて来るのを見るが見えない。まだ時間がある。

のんびり待つ。先程登った岩内岳の急峻が雲もなく全体が見えた。雷電班 16時半降りて来た  
会計は先もって計算されてて、解散式 札幌組の2人と別れ2時間走り 伊達道の駅18時着

リーダー、各担務の方、長距離の運転ありがとうございました。



山ブドウ



こくわの実